

平成27年10月14日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

福祉文教委員会

委員長 渡辺一美

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
(2) 現地調査の総括

- 2 調査の経過 10月14日に委員会を開催し、介護福祉施設の現地調査と総括を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

(2) 現地調査の総括

(3) その他

2 日 時 平成27年10月14日 午前10時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、佐藤敏雄、渡辺一美、佐藤 肇、星野武男、高野甲子雄、
本田 篤

5 欠席委員 なし

6 説明員 青木福祉課長、大島介護福祉室長、小林介護保険係長

7 書 記 小幡議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (10:00)

渡辺委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。高野委員から遅刻の届出が出ておりますので報告します。これから本日の会議を開きます。

(1) 現地調査

渡辺委員長 日程第1、現地調査を議題とします。お手元に配付しました行程表のとおり市内の介護施設の視察を行います。視察先の概要について執行部に説明を求めます。

青木福祉課長 (資料「福祉文教委員会所管事務調査行程表」により説明)

渡辺委員長 これから質疑を行います。

佐藤(肇)委員 この中で公で設置している施設はありますか。

青木福祉課長 特別養護老人ホーム美雪園は、当初は組合で作りましたが今は法人が運営しています。

渡辺委員長 ほかにありませんか。(なし) しばらくの間、休憩します。

休 憩 (9:58)

休憩中に現地調査

再開 (15:39)

渡辺委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

(2) 現地調査の総括

渡辺委員長 日程第2、現地調査の総括を議題とします。現地視察、お疲れ様でした。最初に、福祉課から資料が配付されておりますので説明を求めます。

青木福祉課長 きょうの視察は、最近言われております地域密着型ということで、小規模多機能型、認知症対応型の共同生活介護、特定施設入居者生活介護の施設を中心にご覧いただきましたが、お配りした資料に基づき小林介護保険係長から説明させていただきます。

小林介護保険係長 (資料「福祉文教委員会所管事務調査資料」「介護保険制度の概要」により説明)

渡辺委員長 これから質疑を行います。

佐藤(敏)委員 65歳以上の平成27年から29年度の3年間に必要となる介護サービスの総費用はいくらになりますか。

青木福祉課長 65歳以上の方の負担総額は26億6,850万円です。

本田委員 広神地区の認定率が高いという説明がありましたが、この背景は何でしょうか。

小林介護保険係長 分析は済んでいません。世帯構成や家族構成などもございますので、介護者がいる家族で認定を受けない方も中にはいらっしゃるかもしれないですし、いろんな背景を含んでおりますので、直接的な要因は把握しておりません。

渡辺委員長 ほかにありませんか。(なし) 委員長職を副委員長と交代します。

高野副委員長 引き続き質疑を行います。

渡辺委員 居宅介護サービスの特定施設入居者生活介護は、ひめさゆりと市外という説明でした。それから、地域密着型サービスの特定施設入居者生活介護にヴィラまちなかやがあるという説明でした。ケアハウスやまなみはこの施設に該当しますか。

小林介護保険係長 やまなみは軽費老人ホームですが、特定施設入居者生活介護の指定を受けた定員が30人となっており、この表の中に含まれています。

高野副委員長 委員長を交代します。

渡辺委員長 引き続き質疑を行います。ほかにありませんか。(なし) 引き続き説明を求めます。

小林介護保険係長 (資料「魚沼市内介護保険事業所一覧」「魚沼市内の介護福祉サービス事業所」より説明)

渡辺委員長 これから質疑を行います。

佐藤(肇)委員 きょう視察した小規模多機能ホーム島とすまいる並柳についてですが、それぞれ登録定員数が4人違うんですが、通所定員泊まり定員は同じです。登録定員を出す根拠はあるのでしょうか。

小林介護保険係長 登録定員数は25から29名の場合は、泊まり定員数は6から9名という定

めになっておりますので、両施設とも9名という定員にしています。

佐藤(肇)委員　そうすると、すまいる並柳の25名は施設の都合で25名にしているということ
で、29名までふやそうと思えばふやせるということなんでしょうか。

小林介護保険係長　施設の部屋数、広さというものが関係してくると思います。広い部屋が
あり、プライバシーを確保できる仕切りを入れれば、定員を25名から26名にふやすことは
可能かもしれませんが、面積等の設置基準によって判断されることになります。

佐藤(肇)委員　それは、泊まりだとか通所定員だと思うんです。登録定員はそうじゃないと
思います。

小林介護保険係長　登録定員は、登録者数の上限であり、その基準は29人以下とされている
ため、ふやすことは可能です。なお、各事業所は、訪問サービスと定員が定められた通所・
宿泊サービスの利用調整が必要になるため、そのサービス利用意向等により、29人以下の
範囲で各事業所の判断で定めることになります。

佐藤(敏)委員　特別養護老人ホームについては、魚沼福祉会の待機者が202人ということ
でしたが、ほかの施設で泊まりの希望があるけれどもなかなか泊められないという話でした。
例えば、グループホームの施設がいくつかあり、定員も決められていますが、ここ自体は
待機者がどうなのか、予定どおりかどうか、わかりますか。

小林介護保険係長　グループホームの待機者数については把握しておりませんが、地域密着
型事業所になりますので、それぞれ運営推進会議等で待機者数、あるいは空き定員があれば
情報をいただいて包括支援センター等に情報提供したりしております。

渡辺委員長　ほかに質疑はありませんか。(なし) それでは、ただいまの説明を参考に、こ
れから現地調査の総括を行います。順次発言を求めます。

大平委員　やはり待機者について、美雪園の話の中では施設の事情が大分加味されている。
まだまだ遠方の施設にいたりお金をかけたりという現状もあり、このままの状態では非
常にまずいかなと思いますし、また、施設の絶対数そのものが足りないというのが地域密
着型でも明らかだと思います。そういうことがわかった上で、今後どう精査していくのか
ということが1点。私が施設の担当の方に聞いた中では、介護従事者について私が思っ
ていたイメージと少し違った形がありました。介護従事者が定着しないで辞めてしまうこと、
なかなか待遇がよくなるのでこの地域に根付かない、この地域では生業として成り立
つ下地がないと思っていたのですが、すまいる並柳の方の話だと、魚沼独特の雰囲気があ
ってスタッフと入居者あるいは利用者の関係がすごくいいという側面も見えました。従事
者の待遇を上回る利用者との関係づくりが魚沼ではいいと、他の地域に行くとそうでも
なく非常にシビアな関係という話も実際に聞いてよかったです。それらを利点として、不
足がちだと言われている従事者、ヘルパーや夜間対応の職員などをふやしていける雰
囲気があるのではないかとということ、実際にスタッフの方々から聞いて非常によかつた
と思います。まちなかやでトレーニング指導されているスタッフからは、予防や機能回復の
ためのマシンを使ったトレーニングや体操の事業は必要で、事業展開をしたいけれど
なかなかできない。現在5カ所運営しているけれども広げるとい話にはならない。この理
由の1つは、魚沼市内は広いので、拠点といっても小出のようなところにわざわざ来て
利用することは難しい。各地域で、設備的に不備があっても送迎バスがあれば事業展
開も可能ではないかと。特に冬場は、高齢者が家からあまり出てこない、運動しない、畑もない

ということになれば家にこもりがちになるので、送迎バスや移動手段が確保できるのであれば、移動教室のような形でも事業展開ができるのではないかという期待感をにじませる話も聞いたので、検討していく必要があるのではないか。どの程度行政がタッチしてカバーできるか疑問なところもありますが、自分なりに収穫がありました。介護事業所はものすごくいっぱいあり、個々の事情が違う面もあります。こういった施設の視察は私は初めてですが、第7期をにらんで継続的に委員会として実態をつかんでいくために欠かせないと。そして、テーブルの上の議論ではなくて、直接担当者の話を聞いた上でどういう介護事業計画ができるのかやってみれば、6期とは違う形の計画もできるかなという期待を持ちました。非常によかったと思います。

佐藤(敏)委員 いろいろな施設を見させていただいて非常に参考になりました。特養で202人の待機者がいるということなんですけれども、全体の施設を見回してその辺を若干カバーできるのではないか、検討の必要があるのではないかと感じました。一番感じたのは、まちトレ魚沼では利用者がいきいきとしており、トレーニングによって介護度が上がらなければお金もかからないということですので、元気な高齢者も含めて介護認定者をつくらない、そういう運動が一番大事ではないかと思います。

佐藤(肇)委員 今回は施設というか、施設に来て介護したり生活支援をするという場所を見せていただきました。ただ、その反対の訪問介護、訪問看護、生活支援でヘルパーの部分、そういったところを実際見るというのはなかなか難しいと思うんですが、どういう状況なのか、どこかでしっかり調査していかなければならないと感じました。それぞれの施設では定員があり待機されている方もいると。そういった方は、入所が決まるまでは訪問サービスを使わなければならないということで、充足しているのかどうか気になりました。訪問介護は、単価的には施設でみるよりも高くなるんじゃないか。要は1対1というサービスになるはずですし、なかなか交通費をかけて出かけて行って1対1でみるというのは非常に大変だろう。また、入浴サービスにしても3人がかりでやっておられるということを見ると、施設が充足して間に合わせていけるのであれば、やはりそれに越したことはないのではないかと感じました。ただ、どうしても最終的には自宅にすることが一番だとはわかりますので、その辺の考え方もあるのかと思いました。もう一つですが、かなり施設が老朽化しているところがあることも見てきました。美雪園にしても、もう10年も経てばという話がありました。それから、介護保険施設ではないですが南山荘も30年以上経過しているということですので、市が直接運営しているのではないにしろ、ちょっと目が離れているところもあると思うので、しっかりとサポートしていかなければならないのではないかと感じてまいりました。

星野委員 いろいろなタイプの事業所が市内に多くあることを感じましたし、複合的に組み合わせの中で民間業者の皆さん方が大変頑張っている姿を見せていただきました。その中でも特に若い人たちが中心となって、いきいきと仕事をしている様子を見て本当に感動いたしました。また、まちトレ等の通所介護で介護度が上がらないような業種もあるということで、これからはアクティブシニアを目指して予防の重要性を非常に感じたところでございます。

本田委員 1つは、地域での補完性が重要だと感じました。いわゆる地域密着型、小規模多機能介護でありますけれども、25人の定数で15人の通いと泊まりができるということで、

これを各地域で補完できる形であるといいと感じました。そういった意味では、魚沼市内で全てを補完できているかという点、やはり空白地域があるわけであって、特に守門地域については事業所からぜひ参入していただきたいと感じました。2点目としては、地域密着型でありますけれども、これは許認可は市でありますので、大いに市も関与して行政の立場からアドバイスしていただきたいと思っておりますし、今後も許認可の関係は県から市に権限移譲もあるかもしれませんので、重点を置いていただきたいと思っておりますし期待しております。3点目ですが、介護保険の今後のあり方というところで、きょうの美雪園の施設長の話は大変重かったと思っております。魚沼市の場合は、今後は施設型から小規模多機能等の地域密着型あるいは在宅介護にシフトしていくことによって、市民の人生の質と申しますか、QOLの向上とか、あるいは価値観といったところも考えていかなければならないと感じました。介護保険の運営にも大いにかかわってくるのではないかと思います。

高野委員 皆さんの意見のとおり感じておりますし、一番心配なのは、介護の仕事は居宅にしろ施設にしろ被介護者は人口が減っても減らないと思うので、いかに介護従事者を確保するかどうかと思っております。介護保険制度そのものにかかわってくるので、なかなか市としては難しい面もあると思っておりますけれども、今から手立てをして、いきいきと仕事ができる環境をどうつくるか、報酬や介護従事者の処遇も含めて一番の課題になってくるのではないかと改めて感じたところです。

渡辺委員長 委員長としての感想も言わせていただくと、皆さんからほとんど言っていただきましたので、つけ加えるとすれば、確かに今後地域、居宅で介護という方向性なんでしょうけれども、実際に200人いる待機者をこのままにしておいていいのかという現実的な課題があるのではないかと感じてきました。そこをカバーしているのが小規模多機能であったり、ヴィラまちなかやではないかと思います。施設をふやしていかなければいけないのかということも1点感じました。それから、堀之内地域が待機者の人数がちょっと多いという気がしました。そうすると、そこも施設が足りていないのではないかと。地域別に分けたときにどれだけの施設なり充足率があるのかというところが、今後の課題ではないかと見てきました。今後も引き続き調査していくこととし、本日は以上とします。

(3) その他

渡辺委員長 日程第3、その他を議題とします。執行部からありませんか。(なし)委員の皆さんからはありませんか。(なし)これで、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思っております。本日の福祉文教委員会はこれで閉会といたします。

閉 会 (16 : 33)